

幼児の教育相談ご案内

心育ての子育てを

毎日の生活の中で、子どもの普段の様子から、見える部分だけで成長の変化をとらえようとするのですが、大事なのは自主性や主体性、頑張る力、粘り強さ等、目に見えない心の育ちです。

目に見えない力こそ「生きる力」「学ぶ力」につながっていきます。子ども自身が未来を自分らしく生きていくためにも、乳幼児期からの心育てを大切にしていきたいです。

心の安定

安心・信頼
心のよりどころ

主体性

自分で考えて行動する
自我の確立

社会性

人とかかわる力
協調性・思いやり

自立

基本的な生活習慣の確立
気持ちのコントロール
自信・意欲・挑戦



亀岡市みらい教育リサーチセンター

〒250-0292 大阪府堺市東区大宮1-1-1 亀岡市みらい教育リサーチセンター

乳幼児期からの心育では大人になった時、社会を生き抜く力につながります

発達の段階を踏まえながら先を見通しての子育てを・・・

心や社会性の発達には一定の順序性があります



乳児期

自分の世話をしてくれる人を通して人を信頼する心や愛着形成を築きます。

赤ちゃんの要求をにこにこ顔で受け入れてあげてね。言葉も添えてあげてね。



幼児前期 (1歳～3歳)

基本的な生活習慣が確立し自分で何でもしようとしています。自我も強くなってきます。

自分でやろうとすることはやらせてあげてね。失敗しても見守ってあげてね。



幼児後期 (3歳～6歳)

集団生活の中で様々な葛藤を通して気持ちをコントロールしていきます。

様々な心のゆらめきに共感してあげてね。また、少し背中を押してあげてね。



児童期 (小学校低・中学年)

学習が始まり、苦手な事にも取り組みます。また活動や友達関係が広がります。

最後まで頑張る姿を応援してあげてね。社会のルールを教えてあげてね。



前思春期 (小学校高学年)

心と体に変化の兆しが見えます。自分と友達を比較し客観視ができます。

少しずつ子どもとの距離の取り方を考えましょう。自立にむけて応援してあげてね。



思春期・前半 (中学生)

自立願望で親への依存心が薄れます。様々な矛盾に気づき反抗的になります。

見守るかわりが基本です。悩んだり苦しんだりしている時は支えてあげてね。

※成長には個人差があります。各時期の区切りはあくまでも目安です。

集団生活の中で

こんな姿が気になります

- 自分の意志や主張ができない
- 自分で物事がきめられない
- 無気力になる
- 友達の様子ばかりが気になる
- コミュニケーションをとるのが苦手
- 気持ちのコントロールができにくい
- 些細なことで心配や不安になる
- 自己評価が低くなる

大人のかかわり方は・・・？

- 子どものしている事が待てない
- 先回りしてすぐアドバイスしてしまう
- 大人の価値観を押しつけてしまう
- 周りの子どもとつい比べてしまう
- 忙しくてついつい後回しにしてしまう
- そばにいないと心配で子離れできない
- 子育てに自信がなくいつも不安

乳幼児期は心育での大切な時期です

心の安定



心育での基本です。安心できる大人がいることで安心感や信頼感が生まれます。心のよりどころがあることで頑張れます。

主体性



自我が育っていないと自分自身不安で指示を待ってしまいます。特に幼児期では自分の思いがだせることが大切です。それから気持ちのコントロールの仕方を学んでいきます。

社会性



社会での過ごし方のお手本を大人が見せてあげてください。自己主張をしながらうまくコミュニケーションがとれることが大切です。

自立



幼児期は自分でできることが増えてきます。特に基本的な生活習慣が確立できることが自信となり意欲につながっていきます。